

マネジメント研究センターにおける
「重点研究」の取り組みの開始について

社会科学部マネジメント専攻は、10周年記念事業の一環として、マネジメント研究センターにおける「重点研究」の取り組みを開始しました。

これは、①修了生とマネジメント専攻および現役院生との共同研究の推進②将来的な外部資金の獲得、発展可能性のある研究の育成、を図るためのものです。具体的には、修了生から研究テーマを募集し、本専攻の教員ならびに院生との共同研究を推進し、合わせて大型外部資金へのチャレンジに繋げようとするものです。

今年8月、10周年記念事業の一環として重点研究テーマを修了生から募集し、9月に「医療・社会福祉分野における、サービス・マネジメント向上に関する研究」と「広島観光の現状と課題調査－広島県内の留学生の視点から」を選定しました。

また、今後は、修了生からだけでなく、中国・四国地域、さらにはアジア地域の企業・行政等から広く研究テーマを募集する予定です。

今日大学院教育機関では、修了生と現役院生とのパイプをいかにして構築するかが課題となっています。本専攻では、この4月から修了生によるオムニバス講義「日本の組織と経営」を開講しており、さらに、今回の共同研究テーマの募集は、修了生と現役院生の結ぶ学術交流そのものといえ、交流の新たな形を示すものであり、大いなる発展を期待しています。

【問い合わせ先】

社会科学部マネジメント専攻長
村松潤一
TEL・FAX:082-542-7045